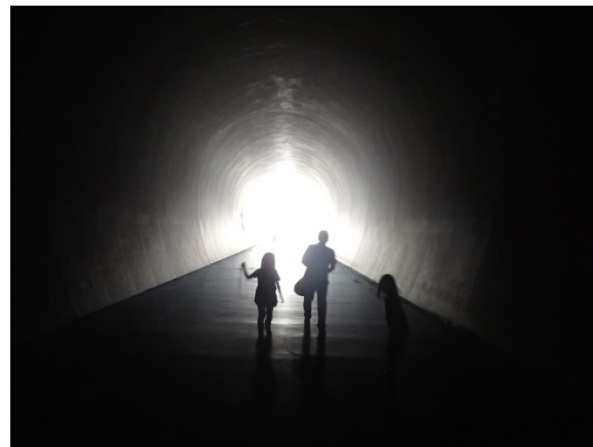


平成28年度 森と湖に親しむ旬間 ～ 小渋ダム ～

- 平成28年7月30日(土)
- 小渋ダム堤体内部、監査廊、小渋第3発電所、土砂バイパストンネルの見学
パネル及びダム周辺の今昔風景写真展示
- 来場者数 約180名
- 天竜川ダム統合管理事務所、長野県企業局南信発電管理事務所、大協建設株式会社が共同で開催。



吐口から土砂バイパストンネルを見学

トンネル内では「涼しい」「気持ちいい」などの声が飛び交う

土砂バイパストンネル内で事業概要を説明

平成28年度 森と湖に親しむ旬間 ～ 小渋ダム ～



小渋第3発電所見学



パネル展示

中川 スケールの大きさ圧倒
天竜川ダム統合管理事務所 小渋ダム開放

中川村大草の国土交通省天竜川ダム統合管理事務所は7月30日、「小渋ダム開放DAY」を行った。ダム堤体の内側や建設が進む土砂バイパストンネルの内部、県企業局が管理する小渋第3発電所を一般公開。休日を利用して県内外から多くの家族連れが訪

内側や建設が進む土砂バイパストンネルの内部、県企業局が管理する小渋第3発電所を一般公開。休日を利用して県内外から多くの家族連れが訪

放水ゲートの真横から下を眺める参加者ら

「森と湖に親しむ旬間」(同21～31日)に合わせてダムなどの重要性について考えてもらおうと毎年実施。例年職員が同行して施設を案内する見学会を開いてきたが、今回は施設の要所に職員が立ち、参加者は許された範囲を自由に見学できるようにした。

ダム堤体の見学は、エレベーターで点検通路のある高さまで降り、ダム外側の通路からゲートや巨大な壁を真近で見学。参加者らはスケールの大きさに圧倒されていた。コンクリートで囲まれたダム内部の温度は15度ほどといい、外気との温度差に、「涼しい」と驚く参加者もいた。

れ、巨大建造物の迫力を堪能した。

長野日報(3面)
28. 8. 2新聞記事